

公表:令和6年2月1日

事業所名:重症児デイサービスdash

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8			
	2	職員の配置数は適切であるか	5	3		リハビリの専門職が少ないことが課題。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8			活動空間は安全に配慮し、広い空間を保っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8			清潔と安全を心がけ、装飾も季節のものを取り入れている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	2	1	時間によって参加できない職員もいるが、なるべく多くの職員の参加を意識している。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8			毎年アンケートをお願いしている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8			アンケート結果を踏まえ、より良い事業所にするために検討していきたい。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			8	第三者評価を依頼したことがない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4		4	専門職向けの外部研修の機会が欲しい
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5	1	2	アセスメントの際には、職種問わず意見をもらって、支援計画に生かしている。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2		6	重心向けのものはないため、ツール使用は難しい。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	2		6	重心児への支援計画としては十分なものを作成できていると思う。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8			支援計画以外にも、保護者の方のご要望を聞いて、即日対応が出来ていると思う。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1	1	担当職員が立案し、そのほかの職員とも連携し、取り組んでいる。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	1	1	出来ることが限られるが、内容が昨年とは違うものを、という意識で新しいものに挑戦している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせせて児童発達支援計画を作成しているか	8			長時間の集団行動はできないが、短時間で満足できるものを集団活動として取り組んでいる。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4		4	シフト時間や送迎時間によって、全体での打ち合わせができないことがあるが、個々に伝えるようにしている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4		4	上記参照
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			日々の支援内容は連絡ノートに記入している。ご意見やトラブルは管理者に報告し、記録を残している。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	1	2	支援計画更新時には見直しを行っている。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8			今年度は1件計画され、児発管が参加した。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	1	2	相談員さんの見学や情報収集をしている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	2	5	1	関係機関との情報共有は保護者の方を通じて行っているが、十分ではない、と感じている。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	2	2	1	上記参照
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4		4	依頼があれば対応はするが、今年度はなかった。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4		4	就学前に学校側と情報共有を行った。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4		4	主催していただく研修には参加したい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8			初めて近隣の学童クラブとの交流ができた。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	8			放デイ連絡会は地域検討会に管理者が出席し、得た情報はスタッフに報告をしている。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			送迎時や連絡ノートを通じて行っている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	2		6	保護者様からのご相談には対応している。それについての情報収集と共有をしている。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8			主に契約時に行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8			支援計画更新時には見直しを行い、同意のサインをいただいている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4		4	定期的には実施していないが、都度の相談や個人面談時に伺い、必要に応じて助言を行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0		8	父母会や保護者会の開催はしたことがない。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1	1	お話があった際には職員で共有し検討している。その旨の報告を保護者様に行っている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8			会報という形ではないが、InstagramやFacebookを通して情報を発信している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8			意思決定を重視し、問いかけやお声をかけながら支援をする意識を持って関わっている。また、外国籍の保護者様には”やさしい日本語”を使っている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0		8	事業所の行事にご招待することはないが、地域の行事に参加させて頂いている。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6	1	1	十分ではないと感じている。個々に必要な医ケアが違うため、適切に対応できる不安がある。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4		4	十分な訓練はできていないが、避難所までの経路は全職員が把握できるようにしている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8			基本的には契約時に行い、服薬変更等、適宜追加で確認をしている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4		4	保護者様からの情報をもとに対応はしているが、医師の指示書までは対応できていない。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8			記録に残し、共有の機会を作って再発防止に取り組んでいる。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			年に2回は実施している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	8			現状、身体拘束が必要なお子様はいないが、極力必要としない方法を模索していきたい。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。